

七夕まつり、交通実験、そして今

『豊中駅前まちづくり構想』とは？①

このシリーズは、この豊中駅前を、まちの多くの人々が願う『安全で安心して楽しく歩き回れるまち』にするにはどのようにしていけば良いかをみなさんと共に考えて行きたいと企画しました。ご意見、ご感想をFAX又はメールにてお寄せ下さい。

豊中駅前まちづくり推進協議会 事務局

連絡先

FAX：06 - 6858 - 6190 / メール：at.machi@mail.tmconet.com

読者のみなさまから、「まちづくりニュースに掲載されている〈じゃすとナウ〉や〈まちづくり掲示板〉に登場する『まちづくり構想』とはどのようなものなのか」という質問が寄せられました。今回はそれに応え、まちづくり構想とその作成に至る過程について、当時豊中駅前のまちづくりに関わられた西岡さんにお話を伺いました。

駅周辺地域のまちづくりビジョン（素案）」を作成しています。地域が自主的にまちの計画をつくるのは、まだ珍しいことでした。計画ではなく**構想**という言葉を使ったのは、まちの大きな方向づけをして、その方向にそって道路や広場づくり、共同建替えなどに向けて関係者の合意づくりを進めよう、そういう段階の計画だから**構想**としたのだと思います。文書になった「**構想**」は、自分たちの住環境や商業の環境の変化をより良いものにする、あるいは悪い影響をできるだけ少なくするために、土地や建物の所有者、住民や業者などがお互いに相談し、協力する仕組みとして編み出されたものです。行政のルールで白黒をつけるのと違って、お互いに意向や心配を相談し、折り合いをつけるためのルールと言えます。

—— 「まちづくり構想」という言葉をよく耳にしますが？

【西岡】まちづくり構想が、どんな内容の計画で、なぜ作られたのか、どんな役割があるのか、なぜ豊中駅前で作ることができたのか、そんな事情を振り返ってみたいと思います。

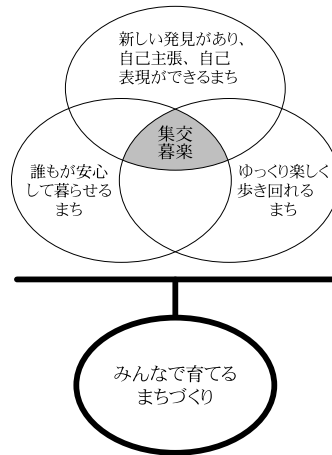
「豊中駅前まちづくり構想」（以下「**構想**」）という文書は、豊中駅前まちづくり協議会が1995年5月に作成したもので、同時に豊中市まちづくり条例にもとづいて、豊中市長に提案されました。提案を受けた市長は、2年間かけて**構想**を実現するための方針「豊中駅前のまちづくりについて 基本方針」（以下「**基本方針**」）を1997年5月にまとめ、地域に回答しました。神戸市などでは地域から提案された計画に対して、「まちづくり**協定**」という形で、その地区のまちづくりのルールや行政の協力、支援を文書にして回答しています。

—— 「**構想**」や「**基本方針**」など、いろんな名前が出てきますが？

【西岡】**構想**も**基本方針**もまちづくりの計画のひとつです。まちづくりの計画と聞くと、まず行政が計画をつくると思い付くでしょう。実は豊中駅前の皆さんは、自分たちでまちの将来を検討し、まとめてみようと思いたったのです。「**構想**」に先立って、豊中駅前青年協議会（若手商業者の集まり）が1989年7月に「豊中



いろいろな人が集い交わりみんなが楽しく暮らせるまち



—— それじゃあ、市の「基本方針」は、白黒をつけるきつい方針だったのですか？

【西岡】市の「基本方針」も、道路や歩道、広場、再開発などの整備に向けた計画課題をはっきりさせたもので、「これはダメ、あれはイイ」といったものではありません。神戸市の「**協定**」では、整備計画の方針を示し、その方針に影響する恐れのある建物の計画などを事前に届けさせて、方針の実現を保証しようという仕組みで、その意図をはっきり出そうと**協定**という言葉をつかったのでしょうか。豊中市は「**基本方針**」を使いましたが、「**基本方針**」

図は建築確認申請の窓

口に置かれ、建物を計画する者は協議会に相談する仕組みが動いていました。

—— 今日是有り難う御座いました。

次回は、なぜ、「**構想**」をつくる必要があったのか、その辺りを振り返ってみたいと思います。

『まちづくり構想』はまちづくり会社内 まちづくりセンターにあります。ご希望の方は1,000円にて頒布しております。

会 員 募 集 中

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して
住み続けられるまちづくりを進めませんが

年会費（一口以上何口でも）
個人会員一口 300円
商店会員一口5,000円

問い合わせ先：
まちづくりセンター（協議会事務局）
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190